

報道関係者各位

2010年12月1日

プラスチック金型専用 CAD システムの最新版 TOPmold v6.11J を 12 月 1 日に発売

コダマ コーポレーション株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:小玉博幸)は、プラスチック金型専用 CAD システム TOPmold の最新バージョンである「TOPmold v6.11J」を 12 月 1 日(水)に発売するのでお知らせ致します。

TOPmold は、樹脂成形品の 3 次元 CAD データを活用して、射出成形、ブロー成形、ダイカストなどの金型を設計する金型設計支援システムです。成形品設計、キャビティ・コア設計、金型構造設計のすべてを 3 次元で行うことで、加工に必要なデータを正確かつ短時間で作成できます。さらに、部品図や部品表は 3 次元データから自動で作成されるため、ミスも無くなります。

今回の最新バージョン TOPmold v6.11J の特長的な機能を以下にご紹介します。

型板属性の付加

モールドベースの 3 次元データを利用して金型を設計する際に、TOPmold でモールドベースとして利用するための型板属性を定義できるようになりました。

型板、取付板、スペーサブロック、エジェクタプレートとしての属性を定義することで、TOPmold でモールド部品を少ない操作で配置できるようになります。

例えば、1 つの直方体をエジェクタプレートとして定義しておけば、エジェクタピンを配置したときに、自動でエジェクタピンと成形品の間配置されます。

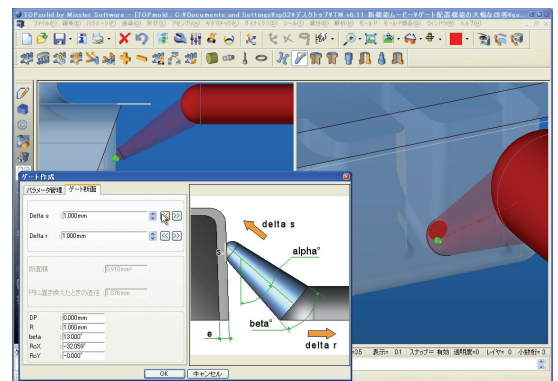
双葉電子工業株式会社様の金型設計・購買支援ソフトウェア「モールド図換 3D」や他の 3 次元 CAD で作成した 3 次元データを有効活用することができます。

ゲート配置のプレビュー機能

プレビューを確認しながらゲートを配置できるようになりました。

ダイレクトゲート、サブマリンゲート、カーブドトンネルゲート、オーバーラップゲート、スポークゲートなどのゲートの種類を選択した後、必要な寸法を指定します。

ここで指定した寸法でゲートの形状がどのようになるかを視覚的に確認できるため、ゲートの配置の操作性が向上しました。



モールド用部品の登録内容の拡張

モールド部品ライブラリにアンギュラカム、サポートピン用カラー、ランナーロックピン用ブシュ、ブシュ式ショルダーボルト、ボルト 貫通穴タイプ、ゲートカットスプリングが追加されました。部品を選択し、サイズを指定すれば、必要な穴は自動で作成され、隣接する型板は自動で移動します。

対応している OS

Windows 7 Professional、Ultimate

Windows Vista Ultimate、Business、Enterprise

Windows XP Professional SP3

価格

1,155,000 円

年間のメンテナンス料金を含まない、ソフトウェアライセンス使用权のみの標準価格(税込)です。

お問合せ窓口

コダマコーポレーション株式会社 事業推進室 中條 貴之

TEL 045-949-1331 FAX 045-949-1515 E-mail bizinfo@kodamacorp.co.jp

URL <http://www.kodamacorp.co.jp/>

- * このプレスリリースに記載された会社名、商品名は、各社の商標、または登録商標です。
- * このプレスリリースに記載された情報は、発表日現在の情報であり、時間の経過または様々な後発事象によって変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。